MAINICHI
毎日新聞
夕刊

新宮さま「命名の儀」

出典は「孟子」　皇太子ご夫妻で選択

宮内庁は7日、皇太子ご夫妻の初めての赤ちゃんの名前は「愛子」、称号は「敬宮」に決まったと発表した。同日午前の「命名の儀」で、天皇陛下から手渡された「名記」が読み上げられた。名前・称号の出典は中国の古典「孟子」で「人を愛し、敬い、敬われる」ことを願って名付けられた。皇室典範の宮内庁解説に「公布中の日から、30日を超えない範囲内で定める日に限られる」とあるように、公布日（17日）に間に合った。

雅子さま　皇太子さま

あす午前にも退院

名前と称号についてのお伺い、奥宮御所（東京・元赤坂）へ。名記は、皇太子さまが自筆で書いた後、宮内庁病院に運ばれ、照宮さまにゆだねられた後、お子さまのそばに置かれた。

名前と称号についてのお伺いは、出産前から皇太子さまが、宮内庁長官が漢学者らに依頼して候補を募り、その中から天皇陛下が決め、皇太子さまに報告されたとのこと。本質的には皇太子さまが選び、内定していたという。

午前0時50分、天皇陛下が皇居・宮殿「鳳凰の間」で、侍従長百武裕二郎氏に命名の儀の日程を伝えた。百武氏は侍従長の名手でお筆入りの「名記」を携えて、ブキの間に入った。名記を携えて皇太子さまが

新宮さまの名前を発表する宮内庁長官＝宮内庁で7日午前11時37分、竹平修一撮影

出典全文

出典の「孟子」は次の通り。

孟子曰く、君子の人に接するや、物を愛して仁ならず。親しまざれば、親の心を存して以てなり。君子は之を以て心を存し、礼を以てこれを存す。仁者は人を愛し、礼ある者は人を敬す。人を愛する者は人恒これを愛し、人を敬する者は人恒これを敬す。

○大意○

孟子の言葉。君子（徳のある人）が他人と異なっているところは、本心を失わずに保持しているからである。君子は仁を以て本心を保持し、礼を以て本心を保存する。仁者は人を愛し、礼を修める者は人を敬う。人を愛する者は、他人もまたこれを愛し、人を敬する者は、他人もまたこれを敬する。

3案ずつ六十

宮内庁によると、出典の「孟子」は、中国の古典、四書の一つ。7冊からなり、お名前と称号はその中にある、孟子の教えに触れられたのくだりから取った。同庁によると「良い人間関係をもって人生を送ってほしい」という願いがこめられている。

名前と称号は徳田虎雄・東京教育大名誉教授、米山喜太郎・静岡県文化財審議委員長、秋山駿・東京大名誉教授の3人の専門家が協議し、3案ずつ本皇太子ご夫妻に示した。

儀式を行う「命名の儀」が宮内庁病院で行われた。お子さまが誕生日の午後、そばで大変のたいに入り、寝を続ける光景をしばらく眺め、時を忘れた二人で、古代のっとり皇室典範の解説書の解説は、皇室典範大名誉教授が日本書紀の一節を読んだ。続いて、同じく、文部省の解説の解説人が「オ」というかけ声とともに祝詞に向け号の笏を2度引き故っ

これに先だち、お子さまの名前を伝い、文部と。